

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2011年1月1日から2011年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋 秀晴 教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 著書</p> <p>1) 『改訂 秋田一ふるさとの文学』(無明舎出版)、2011年3月20日 (共編著、全167ページ)</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 吉澤結子・津田渉・鈴木英治・村田純・露崎浩・高橋秀晴「理系学部初年次教育としての「地域学」開講の試み—生物資源科学部「秋田の歩き方入門」開講初年度を終えて—」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2011年3月31日、第12号、63～68ページ (共著)</p> <p>2) 高橋秀晴「ハノイにのこせ人のあと—小牧近江と小松清—」『秋田文学』(秋田文学社) 2011年9月9日、第20号、67～74ページ (単著)</p>
<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告</p> <p>1) 高橋秀晴「小牧近江と終戦」秋田風土文学会、2011年2月11日 (於：あきた文学資料館)</p> <p>2) 高橋秀晴「小牧近江と仏越和平交渉—交錯するフランス・ベトナム・中国—」日本社会文学会秋季北京大会／中国社会科学院日本研究所学術シンポジウム、2011年9月18日 (於：中国社会科学院日本研究所)</p> <p>3) 高橋秀晴「小牧近江寄託資料の意義」『種蒔く人』創刊90周年記念事業、2011年10月8日 (於：カレッジプラザ)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005年4月～</p> <p>2) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年7月～</p> <p>3) 秋田県教職員健康審査会第1部会委員、2006年10月～</p> <p>4) あきた文学資料館収集検討委員、2007年4月～</p> <p>5) 秋田県立博物館協議会委員、2007年7月～</p> <p>6) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～</p> <p>7) 『あきたの文芸』選考委員、2008年4月～2011年3月</p> <p>8) A B S秋田放送番組審議会副委員長、2008年7月～</p> <p>9) 秋田県芸術選奨選考委員長、2010年1月～2011年3月</p> <p>10) 秋田県青少年環境浄化審議会会長、2010年1月～</p> <p>11) 私大・短大魅力アップ支援事業審査委員会委員、2010年6月～</p> <p>12) 「家族で読書」推奨啓発標語選考委員長、2011年8月～10月</p> <p>13) 秋田市公文書管理条例検討委員会委員、2011年11月～</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年5月～</p> <p>2) 日本社会文学会評議員、2007年7月～</p>

	<p>3) 『改訂 秋田—ふるさとの文学』編集委員、2008年11月～2011年3月</p> <p>4) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年4月～</p> <p>5) 日本社会文学会監事、2009年6月～2011年6月</p> <p>6) 日本比較文学会東北支部幹事、2009年6月～</p> <p>7) 日本近代文学会東北支部事務局長、2009年7月～</p> <p>8) 『東北近代文学事典』編集委員、2009年10月～</p> <p>9) 『種蒔く人』創刊90周年記念事業実行委員会事務局長、2011年3月～</p> <p>10) 日本社会文学会理事、2011年6月～</p> <p>11) 日本近代文学会東北支部冬季秋田大会運営、2011年12月24日</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 秋田市少年指導委員研修会「青少年の環境浄化」、2011年2月23日（於：秋田市文化会館内サンパル秋田）</p> <p>2) 日本文学同好会「ハノイ時代の小牧近江」、2011年4月3日（於：あきた文学資料館）</p> <p>3) 日本文学同好会「小牧近江と小松清」、2011年4月24日（於：あきた文学資料館）</p> <p>4) 秋田県公立小・中学校女性校長会講演「教育と文学—郷土秋田という視点から—」、2011年6月4日（於：ルポールみずほ）</p> <p>5) 教員免許状更新講習「秋田の近代文学」、2011年8月1日（於：秋田県立大学）</p> <p>6) 平成23年度秋田県高等学校新教育課程説明会国語部会「教育と言語活動—大学教育の現場から—」、2011年8月11日（於：秋田県総合教育センター）</p> <p>7) なごみ会総会「秋田の女性作家とその時代—山田順子・松田解子・矢田津世子をめぐって—」、2011年8月20日（於：イヤタカ）</p> <p>8) 本荘図書館・文学散歩「文学散歩～「矢田津世子文学記念室」」、2011年9月28日（於：矢田津世子文学記念室）</p> <p>9) あきた文学資料館文学講座「小牧近江とベトナム」、2011年10月15日（於：あきた文学資料館）</p> <p>10) 読書の集い2011 in 秋田「ふるさとと本を語る—文学・出版・映像の響き合い」、2011年10月15日（於：秋田県生涯学習センター）</p> <p>11) 平成23年度美の国カレッジあきた学地域講座「近代作家と横手」、2011年10月29日（於：あさくら館）</p> <p>12) 高校生のための文学講座／文学深読み教室「夏目漱石の「こころ」」、2011年11月20日（於：あきた文学資料館）</p> <p>13) 秋田県立大曲高等学校・大学模擬講義「文学研究の実際」、2011年11月22日（於：秋田県立大曲高等学校）</p> <p>14) 平成23年度美の国カレッジあきた学専門講座「世界の多喜二と生地秋田」、2011年11月26日（於：秋田県生涯学習センター）</p>

<p>V その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料による小牧近江研究」（課題番号20520167）研究代表者 2) 平成23年度秋田県立大学学長プロジェクト・特別研究「初公開資料による小林多喜二研究」研究代表者 3) 学会等開催支援「『種蒔く人』創刊90周年記念事業」事務局長 4) 平成23年度第1回秋田地域元気なふるさと秋田づくり活動支援事業「『種蒔く人』創刊90周年記念事業」事務局長 5) 大学コンソーシアムあきた平成23年度学際的研究プロジェクト「秋田県の活性化のための調査研究」共同研究者 <p>* 報告書等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「佐藤義亮研究—日本近代文学発展への貢献に関する考察—」（「平成21年度学長プロジェクト研究成果報告書」、2011年1月25日） 2) 「新資料による小牧近江研究」（「平成22年度科学研究費補助金実績報告書」、2011年5月13日） 3) 「新資料による小牧近江研究」（「科学研究費補助金自己評価報告書」、2011年5月16日） <p>* 新聞・雑誌掲載等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「支部だより」「日本近代文学会「会報」」2011年4月1日、第114号、36～37ページ（単著） 2) 「あきた文学資料館平成23年度第1回特別展示巻頭言」（あきた文学資料館）2011年5月24日～10月23日（単著） 3) 「支部だより」「日本近代文学会「会報」」2011年9月1日、第115号、33ページ（単著） 4) 「斬新な発表に期待／『種蒔く人』創刊90周年の集い」に寄せて上『秋田魁新報』、2011年10月6日（単著） <p>* 記事・取材協力等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「『さきがけ選書』シリーズ第3弾「ケアの心 看護の力」を増刷」『秋田魁新報』2011年5月27日 2) 「県内出身作家を紹介／22日から文学講座／あきた文学資料館」『秋田魁新報』2011年6月15日 3) 「秋田銀行スペシャル／ふるさと秋田再発見シリーズ／秋田人物伝～石川達三～」AKT秋田テレビ、2011年7月23日、15：00～15：55 4) 「『種蒔く人』の思想、時代背景学ぶ／創刊90周年記念講座」『秋田魁新報』2011年9月3日） 5) 「『種蒔く人』創刊90周年の集い」『読売新聞』2011年10月4日 6) 「プロレタリア文学の先駆け「種蒔く人」」『河北新報』2011年10月4日 7) 「戦争を拒む国際連帯／『種蒔く人』創刊90周年の集い」に寄せて下『秋田魁新報』2011年10月7日
-----------------	--

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>8) 「本への熱い思い語る／読書のつどいで本県ゆかりの3人／著作のきっかけなど披露」『秋田魁新報』2011年10月16日</p> <p>9) 「秋彩人／「読者と一体」に先進性／格差社会への示唆に富む内容」『朝日新聞』2011年10月31日</p> <p>10) 「高校生向け文学講座／「こころ」深く読もう／20日、あきた文学資料館」『秋田魁新報』2011年11月2日</p> <p>11) 「さきがけ選書来月中旬増刷」『秋田魁新報』2011年11月24日</p> <p>* 被書評・引用・言及等</p> <p>1) 紹介「高橋秀晴著『秋田近代小説そぞろ歩き』」『社会文学』（日本社会文学会）2011年2月25日、第33号、210～211ページ</p> <p>2) 紹介「出版の魂／新潮社をつくった男・佐藤義亮」『社会文学』（日本社会文学会）2011年2月25日、第33号、217～218ページ</p> <p>3) 書評「高橋秀晴著『秋田近代小説そぞろ歩き』（秋田魁新報社、平成二二年三月）／『出版の魂／新潮社をつくった男・佐藤義亮』（牧野出版、平成二二年三月）」『日本近代文学会東北支部会報』（日本近代文学会東北支部）2011年4月12日、第42号、9～13ページ</p> <p>4) 参考文献「高橋秀晴 秋田近代小説 そぞろ歩き（さきがけ選書・秋田魁新報社、10・3）」『多喜二・百合子研究会会報』（多喜二・百合子研究会）2011年10月20日、第196号、12ページ</p>
--	--

渡部 諭 教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 学術論文等</p> <p>1) Hirohide Shibutani, Satoshi Watanabe 「A comparison of binary and polytomous IRT models in terms of the amount of information extracted from items in a risk-seeking propensity scale」『青森大学・青森短期大学学術研究会研究紀要』2011年7月、第34巻、第1号、165～181ページ（共著）</p> <p>2) 久保田力、古藤浩、三瀬夏之介、渡部諭 「芸術とスピリチュアリティーー東北芸術工科大学学生対象の質問紙調査結果とその分析ー」『東北芸術工科大学紀要』2011年10月、第18・19合併号掲載、98～161ページ（共著）</p> <p>3) 澁谷泰秀、渡部諭 「詐欺犯罪被害傾向と生活の質ー高齢者と若年成人との比較ー」『青森大学・青森短期大学学術研究会研究紀要』2011年11月、第34巻、第2号、89～112ページ（共著）</p>
<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告</p> <p>1) 澁谷泰秀、渡部諭 「回答者のリスク志向性がフレーミング効果に及ぼす影響の評価」2011年度統計関連学会連合大会、2011年9月4日～7日、（於：九州大学）</p>

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>2) <u>渡部諭</u>、<u>澁谷泰秀</u>「積極性効果が高齢者のウェブ探索行動とウェブ上の意思決定に与える影響」 日本行動計量学会第39回大会、2011年9月11日～14日、(於：岡山理科大学)</p> <p>3) <u>渡部諭</u>「インターネット空間におけるシニアサイトの分析」第20回 Web インテリジェンスとインタラクション研究会、2011年9月1日～2日、(於：函館市)</p> <p>4) <u>渡部諭</u>、<u>澁谷泰秀</u>「積極性効果が高齢者のウェブ探索行動に与える影響」老年心理学研究会第2回研究会ならびに高齢者心理研究部会第6回研究会、2011年10月22日、(於：明治学院大学)</p>
<p>Ⅲ 社会活動 ・受賞等</p>	<p>* 社会活動 NPO 法人秋田 CAP プロジェクト RISTEX 申請活動参加 (2011年6月～)</p>
<p>Ⅴ その他の活動</p>	<p>* 報告書等</p> <p>1) <u>渡部諭</u>、<u>澁谷泰秀</u>「社会情動的選択性理論に基づく高齢者のウェブメディア・リテラシーに関する研究 —情動広告が高齢者に与える影響—」平成22年度第44次吉田秀雄記念事業財団助成研究集、83～98ページ</p> <p>2) <u>渡部諭</u>、<u>澁谷泰秀</u>「犯罪被害に遭いやすい高齢者の認知バイアス —高齢者はなぜ犯罪に狙われやすいか—」財団法人社会安全研究財団研究助成最終報告</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) (課題番号: 23530825)「高齢者の社会情動的選択性とリスク志向性が及ぼす生活の質への影響」研究分担者</p> <p>2) 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) (課題番号: 23530623)「郵送・インターネットによる実験的な職歴調査の実施」研究分担者</p> <p>3) 三井住友海上福祉財団研究助成「振り込め詐欺被害に遭いやすい高齢者の認知バイアスの研究 —社会情動的選択性理論の観点からの認知心理学的研究—」研究代表者</p>

小松田 儀貞 准教授

I 著書・学術論文等	* 学会報告座長 1) 第58回東北社会学会、自由報告Ⅱ医療・福祉部会、2011年7月18日（於：宮城学院女子大学）
III 社会活動・受賞等	* 社会活動 1) あきた女性チャレンジ推進協議会委員（2008年4月～2011年） 2) エフエム秋田番組審議会委員（2008年4月～）副会長（2009年4月～） 3) あきた子育て女性等の就職支援協議会委員（2010年7月～） 4) 平成22年度文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」仙北評価委員会委員（2010年7月～） 5) 秋田うつくしま県人会事務局（2011年7月～）
IV 講演・公開講座等	1) 放送大学面接授業「〈文化〉と〈経済〉の社会学」、2011年6月4日～5日（於：放送大学秋田キャンパス）

小池 孝範 准教授

I 著書・学術論文等	* 著書 1) 『教育の現在〔改訂版〕』（学術出版会）2011年2月25日（共著） * 学術論文等 1) 小池孝範「自尊感情と本来的自己——自尊から自存へ——」『プロテウス』（仙台ゲーテ自然学研究会）2011年3月31日、第13号、77～91ページ（単著） 2) 小池孝範、清多英羽、奥井現理、紺野祐、走井洋一「「タブラ・ラサ」説と教育万能論——「生まれか育ちか」論争をてがかりに——」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2011年3月31日、第12号、1～15ページ（共著） 3) 紺野祐、走井洋一、小池孝範、清多英羽、奥井現理「「教育」概念の分析と再構築に関する研究(1)」『秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学』（秋田大学教育文化学部）2011年3月31日、第66集、25～36ページ（共著） 4) 清多英羽、奥井現理、紺野祐、走井洋一、小池孝範「不登校児童生徒に対する指導の基本方針に関する研究」『青森中央短期大学 研究紀要』（青森中央短期大学）2011年3月31日、第24号、71～77ページ（共著）
II 学会報告等	* 学会報告 1) 小池孝範「教化学と教育学」日本仏教教育学会第20回学術大会、2011年10月29日（於：大谷大学）

<p>IV 講演・公開講座等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度都道府県宗教法人事務担当者研修会（北海道・東北地区）講師「仏教の葬祭事情と死生観」、2011年9月1日（於：秋田県庁） 2) 秋田県教育免許更新講習講師「教育の最新事情」領域、2011年8月3日（於：横手セントラルホテル） 3) 秋田県教育免許更新講習講師「教育の最新事情」領域、2011年8月3日（於：秋田県立近代美術館） 4) 秋田県教育免許更新講習講師「教育の最新事情」領域、2011年8月9日（於：ホテルクラウンパレス秋北） 5) 大学コンソーシアムあきた 中大連携授業出前授業「教育ってなんだろう？」（メニュー提供、未開講）
--------------------	--

内山 応信 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>*学術論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) <u>Uchiyama M</u>、Demura S、Shin S 「Is there a relationship between the functional reach test and flexibility?」『Advances in Physical Education』2011年11月、第1巻2号、11～15ページ（共著） 2) Morishita K、Demura S、Yamada T、Yamaji S、Aoki M、Kitabayashi T、<u>Uchiyama M</u> 「The effect of ornithine ingestion on carbohydrate metabolism during rest after acute resistance exercise in healthy young males.」『Advances in Bioscience and Biotechnology』2011年8月、第2巻4号、287～292ページ（共著） 3) Kitabayashi T、Demura S、<u>Uchiyama M</u>、Demura T 「Comparison of the body-sway characteristics of young adults compared to the health elderly and elderly with equilibrium disorder.」『Perceptual and Motor Skills』2011年10月、第113巻2号、547～556ページ（共著） 4) Demura S、Sato S、Shin S、<u>Uchiyama M</u> 「Setting the criterion for fall risk screening for healthy community-dwelling elderly.」『Archives of Gerontology and Geriatrics』2011年5月 [Epub ahead of print]（共著） 5) Demura S、Yamada T、<u>Uchiyama M</u>、Sugiura H、Hamazaki H 「Selection of useful items for fall risk screening for community dwelling Japanese elderly from the perspective of fall experience, physical function, and age level differences.」『Archives of gerontology and geriatrics』2011年9-10月、第53巻2号、123～130ページ [Epub 2010 Dec 4]（共著） 6) Demura S、Yamada T、Shimada S、<u>Uchiyama M</u> 「Influence of exercise habits and physical fitness level on subjective fatigue symptoms in adolescent students.」『Health』2011年1月、第3巻1号、20～25ページ（共著）
-------------------	--

	<p>* Proceeding</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 川端悠、出村慎一、<u>内山応信</u>、辛紹熙「クローチング姿勢における前後および左右方向に対する安定性の変化」『体力科学』(日本体力医学会) 2011年12月1日、第60巻6号、598ページ(共著) 2) 辛紹熙、出村慎一、川端悠、<u>内山応信</u>「異なるタイミングの光刺激が歩行停止動作に及ぼす影響」『体力科学』(日本体力医学会) 2011年12月1日、第60巻6号、824ページ(共著) 3) 杉浦宏季、出村慎一、川端悠、<u>内山応信</u>「膝関節疼痛を有する高齢女性の階段昇降成就度が歩容に及ぼす影響」『体力科学』(日本体力医学会) 2011年12月1日、第60巻6号、891ページ(共著) 4) <u>内山応信</u>、出村慎一、山田孝禎、辛紹熙「各種スポーツ競技選手の利き手は競技レベルにより異なるか」『体力科学』(日本体力医学会) 2011年12月1日、第60巻6号、893ページ(共著)
<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) <u>Uchiyama M</u>、Demura S、Nakada M、Kitabayashi T「Visual contribution to postural control while recovering from an unexpected destabilized posture - a basic study using center of pressure sway -.」The 14th Scientific Meeting of Korea-Japan Health Education Symposium and the 59th Annual Meeting of Japanese Society of Education and Health Science、2011年8月20～21日、(於：石川県政記念しいのき迎賓館、金沢21世紀美術館) 2) Kitabayashi T、Demura S、Nakada M、<u>Uchiyama M</u>「Comparison of the body characteristics of young adults, the general elderly, and the disordered elderly.」The 14th Scientific Meeting of Korea-Japan Health Education Symposium and the 59th Annual Meeting of Japanese Society of Education and Health Science、2011年8月20～21日、(於：石川県政記念しいのき迎賓館、金沢21世紀美術館) 3) Yamada T、Demura S、Miyaguchi K、<u>Uchiyama M</u>「Subjective fatigue symptoms, exercise habits, and physical fitness level in adolescent.」The 14th Scientific Meeting of Korea-Japan Health Education Symposium and the 59th Annual Meeting of Japanese Society of Education and Health Science、2011年8月20～21日、(於：石川県政記念しいのき迎賓館、金沢21世紀美術館) 4) <u>内山応信</u>、出村慎一、山田孝禎、松田繁樹「自覚的および Edinburgh 調査票に基づく利手のスポーツ種目間差.」日本体育学会第62回大会、2011年9月25日(於：鹿屋体育大学) 5) 野口雄慶、出村慎一、中田征克、<u>内山応信</u>「脚の違いが不安定な台上での片脚立ち姿勢の安定度に及ぼす影響.」日本体育学会第62回大会、2011年9月25日(於：鹿屋体育大学) 6) <u>内山応信</u>、出村慎一、山田孝禎、辛紹熙「各種スポーツ競技選手の利き手は競技レベ

	<p>ルにより異なるか。」第66回日本体力医学会大会、2011年9月16日（於：海峡メッセ下関・下関生涯学習プラザ）</p> <p>7) 川端悠、出村慎一、<u>内山応信</u>、辛紹熙「クローチング姿勢における前後および左右方向に対する安定性の変化。」第66回日本体力医学会大会、2011年9月17日（於：海峡メッセ下関・下関生涯学習プラザ）</p> <p>8) 辛紹熙、出村慎一、川端悠、<u>内山応信</u>「異なるタイミングの光刺激が歩行停止動作に及ぼす影響。」第66回日本体力医学会大会、2011年9月17日（於：海峡メッセ下関・下関生涯学習プラザ）</p> <p>9) 杉浦宏季、出村慎一、川端悠、<u>内山応信</u>「膝関節疼痛を有する高齢女性の階段昇降成就度が歩容に及ぼす影響。」第66回日本体力医学会大会、2011年9月17日（於：海峡メッセ下関・下関生涯学習プラザ）</p> <p>* ワークショップ</p> <p>1) 内山応信「日本体育学会測定評価分科会企画統計相談、応用統計部門、統計相談員」日本体育学会、2011年9月25日（於：鹿屋体育大学）</p>
<p>III 社会活動 ・受賞等</p>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実行委員会委員、2011年5月1日～</p> <p>2) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年5月1日～</p> <p>3) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年4月1日～</p> <p>4) 秋田市北部バレーボール指導者会小学生バレーボール大会実行委員会副委員長、2011年2月16日（於：秋田工業高等専門学校）</p>
<p>V その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会、挑戦的萌芽研究、「運動器不安定症高齢者の易転倒性と具体的支援策を評価するシステムの開発」(Research Project Number: 23650431)、2010年4月～2014年3月、研究協力者</p> <p>2) 日本学術振興会、若手研究(B)、「歩行時の転倒を感知する各種感覚の閾値と優先度の解明—転倒予防の基礎的検討」(Research Project Number: 22700695)、2010年4月～2012年3月、研究代表者</p> <p>3) 日本学術振興会、基盤研究(A)、「生活自立高齢者のための包括的な転倒予防システムの構築」(Research Project Number: 21240064)、2009年4月～2013年3月、連携研究者</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 科研費実績報告書：日本学術振興会、若手研究(B)、「歩行時の転倒を感知する各種感覚の閾値と優先度の解明—転倒予防の基礎的検討」(Research Project Number: 22700695)、2010年4月～2012年3月、研究代表者</p> <p>* 被書評・引用・言及等</p>

- 1) 被引用：Matsuda S、Demura S、Uchiyama M 「Centre of pressure sway characteristics during static one-legged stance of athletes from different sports.」『Journal of Sports Sciences』2008年5月、第26巻7号、775～779ページ
- Jernice TSY、Nonis KP、Yi CJ 「The balance control of children with and without hearing impairment in Singapore - A case study.」『International Journal of Special Education』2011年3月、第26巻3号、260～275ページ
 - Idoate F、Calbet JA、Izquierdo M、Sanchis-Moysi J 「Soccer attenuates the asymmetry of rectus abdominis muscle observed in non-athletes.」『PLoS ONE』2011年4月、第6巻4号、e19022ページ
 - Bell DR、Guskiewicz KM、Clark MA、Padua DA 「Systematic review of the balance error scoring system.」『Sports Health』2011年5月、第3巻3号、287～295ページ
 - Hrysomallis C 「Balance ability and athletic performance.」『Sports Medicine』2011年3月、第41巻3号、221～232ページ
 - Jakobsen MD、Sundstrup E、Krustrup P、Aagaard P 「The effect of recreational soccer training and running on postural balance in untrained men.」『European Journal of Applied Physiology』2011年3月、第111巻3号、521～530ページ
- 2) 被引用：Demura S、Tada N、Matsuzawa J、Mikami H、Ohuchi T、Shirane H、Nagasawa Y、Uchiyama M 「The influence of gender, athletic events, and athletic experience on the subjective dominant hand and the determination of the dominant hand based on the laterality quotient (LQ) and the validity of the LQ.」『Journal of Physiological Anthropology』2006年9月、第25巻5号、321～329ページ
- Čvorović A、Kocić M、Berić D 「The disproportion of the dominant and ancillary extremities in displaying movement frequency among young basketball players.」『Facta Universitatis Series Physical Education and Sport』2011年、第9巻1号、91～98ページ
- 3) 被引用：Uchiyama M、Demura S 「Influence of changes in visual acuity under various visual field conditions on the spectral characteristics of center of pressure sway.」『The Journal of sports medicine and physical fitness』2007年6月、第47巻2号、210～216ページ
- Robillard R、Prince F、Boissonneault M、Filipini D、Carrier J 「Effects of increased homeostatic sleep pressure on postural control and their modulation by attentional resources.」『Clinical neurophysiology』2011年9月、第122巻9号、1771～1778ページ
- 4) 被引用：Demura S、Uchiyama M 「Influence of moderate alcohol ingestion on gait.」『Sport Sciences for Health』2008年、第4巻1 - 2号、21～26ページ

総合科学教育研究センター個人業績

	<ul style="list-style-type: none"> ・Teixido M、Palleja T、Tresanchez M、Nogues M、Palacin J「Measuring Oscillating Walking Paths with a LIDAR.」『Sensors』2011年5月、第11巻5号、5071～5086ページ
--	---

渡部 昌平 准教授

<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 渡部昌平「教員等に対するキャリア教育啓発の必要性について」日本教育カウンセリング学会第9回研究発表大会、2011年8月11日（於：北海商科大学） 2) 渡部昌平「キャリア教育における自己理解と仕事理解の重要性について」日本キャリア教育学会第33回研究大会、2011年11月13日（於：日本体育大学）
<p>III 社会活動・受賞等</p>	<p>* 社会活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学コンソーシアムあきた 学生の人間力育成に係る教職員ワーキンググループ 委員、2011年7月～ 2) 秋田県生涯学習センター運営協議会 委員、2011年11月～ 3) 秋田県学校卒業者就職問題連絡協議会 委員代理出席、2011年4月20日 4) 秋田県キャリア教育フォーラム シンポジスト、2011年10月31日
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>* 講演・公開講座</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 那覇商業高校3年職業講話「若者を取り巻く雇用環境」、2011年2月9日（於：那覇商業高校） 2) 沖縄教育カウンセラー協会 教育カウンセラー養成講座「キャリア教育の基本と留意点」、2011年2月11日（於：沖縄キリスト教学院大学） 3) キャリア・コンサルティング協議会 キャリア・コンサルティング研修講演「キャリア・コンサルタントに期待される社会的役割と今後の展望」、2011年3月5日（於：沖縄県産業支援センター） 4) 名桜大学公開講座「就職ミスマッチ解消に向けた実践型教育－名桜大学キャリア教育モデルの構築に向けて」（パネリスト）、2011年3月26日（於：名桜大学） 5) 秋田県総合教育センター講師「中学校新任進路指導主事研修」、2011年6月8日（於：秋田県総合教育センター） 6) 秋田県総合教育センター講師「キャリア教育推進研修講座Ⅱ」、2011年10月25日（於：秋田県総合教育センター）
<p>V その他の活動</p>	<p>* 寄稿</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 秋田魁新聞、「長所重視した採用で選考を」2011年10月22日

高階 悟 教授

I 著書・学術論文等	* 学術論文等 1) 高階 悟「マッド・サイエンティストとモンスター」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 第12号、2011年3月31日、17～25ページ(単著)
II 学会報告等	* 学会報告 1) 高階 悟「モンスターとフランケンシュタイン・コンプレックスと科学者」第16回日本国際理解研究会宮崎究発表大会、2011年3月19日(於:ひまわり荘、宮崎市) 2) 高階 悟「英語リメディアル教育と学力保証」第37回全国英語教育学会山形研究大会、2011年8月20日(於:山形大学)
III 社会活動・受賞等	* 社会活動 1) 秋田県 TOEIC 推進協議会 副委員長(2008年4月～) 2) 東北英語教育学会 理事(2006年4月～) 3) 日本リメディアル教育学会 理事(2011年10月～) 4) 秋田英語英文学会 運営委員(2006年4月～)
IV 講演・公開講座等	* 講演・公開講座 1) 大学高校連携授業「コンピュータを使っての英語の授業」(秋田西高校生17名、金足農業高校6名、大曲農業高校3名)、2011年8月23日(於:秋田県立大学) 2) キャンパス見学会「CALL 学習体験」(能代北高等学校1年生、18名)、2011年9月21日(於:秋田県立大学 CALL 教室)
V その他の活動	* 秋田県立大学の新しい海外語学研修の企画・実施 1) グアム大学夏期語学研修を企画、学生募集、学生への説明会実施、学生15名の引率、グアム大学語学研修(2011年8月28日～9月11日) ・帰国後「グアム大学夏期語学研修」の報告会の実施(2011年11月14日)

高橋 守 教授

I 著書・学術論文等	<p>* 著書</p> <p>1) 『物語論』(イズミヤ出版) 2011年 8月12日 (単著)</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) スティーヴン・シュカート、高橋守「Communication Activities for Teaching Vocabularies」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2011年 3月31日、第12号、39～44ページ (共著)</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) スティーヴン・シュカート、高橋守「Using narratives in the classroom」全国語学教育学会秋田支部 5月例会、2011年 5月28日 (於：国際教養大学)</p> <p>2) 高橋守「秋田県立大学の初年次英語教育」東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会第61回大会、2011年 9月 1日 (於：秋田大学)</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 受賞等</p> <p>1) 秋田県立大学・ベストティーチング賞、2011年 2月23日</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 課題研究のためのワークショップ講師「課題研究：由利ゼミ」、2011年 5月12日 (於：由利高等学校)</p> <p>2) 大学セミナー講師「国際科外部講師による英語学習活動」、2011年11月24 (於：由利高等学校)</p> <p>3) 大学高校連携授業「高校生英語セミナー」、2011年 7月11日、10月 3日、10月17日 (於：秋田県立大学)</p>
V その他の活動	<p>* 助言等</p> <p>1) 審査員「第29回国際理解・国際協力のための英語弁論大会」、2011年 2月10日 (於：由利高等学校)</p>

檜山 晋 教授

I 著書・学術論文等	* 学術論文 1) Hiyama, Susumu. 「Element Order in 'The Blickling Homilies': Part II.」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2011年3月31日、第12号、33～43ページ（単著）
IV 講演・公開講座等	* 講演・公開講座 1) 大学高校連携授業「由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業」、2011年5月9日、5月16日、5月23日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）

Stephen Shucart 准教授

I 著書・学術論文等	* 学術論文 1) <u>スティーヴン・シュカート</u> 、高橋守「Communication Activities for Teaching Vocabularies」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2011年3月31日、第12号、39～44ページ（共著）
II 学会報告等	* 学会報告 1) <u>スティーヴン・シュカート</u> 、高橋守「Using narratives in the classroom」全国語学教育学会秋田支部5月例会、2011年5月28日（於：国際教養大学）
III 社会活動・受賞等	* 社会活動 1) 全国語学教育学会秋田支部役員（広報担当）、1999年6月～
IV 講演・公開講座等	* 講演・公開講座 1) 大学高校連携授業「高校生英語セミナー」、2011年10月24日、10月31日、11月14日（於：秋田県立大学）
V その他の活動	* 報告書等 1) 「秋田支部報告」全国語学教育学会『The Language Teacher』、2011年第35巻 第1号、第2号、第5号、第6号 * 学術論文査読 1) 査読委員 全国語学教育学会 CALL SIG 「CALL-EJ (http://callej.org/)」

岡崎 弘信 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) Haruhiko NITTA、<u>Hironobu OKAZAKI</u>、Walter KLINGER 「An Analysis of U.S. Air Traffic Controllers' Speech Speed Rates」『Academic Reports of The University Center for Intercultural Education』（滋賀県立大学）2011年12月、第16号、23～36ページ（共著）</p> <p>2) Haruhiko NITTA、<u>Hironobu OKAZAKI</u>、Walter KLINGER 「Speech Rates and a Word Recognition Ratio for Listening Comprehension of Movies」『ATEM Bulletin』（映画英語教育学会）2011年1月30日、第16号、5～16ページ（共著）</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <p>1) <u>岡崎弘信</u>、自主研英語 G（石井めぐみ、小野垣達也、杉山祐樹）「映画を教材として TOEIC に挑む～理系学生が取り組む語学力強化のための自主研究」映画英語教育学会東日本支部第2回支部大会、2011年12月18日（於：麗澤大学東京研究センター）</p> <p>2) <u>Hironobu OKAZAKI</u>、Kazuhiko KIDO、Shin'ichi HASHIMOTO 「Development of a Switchable Vocabulary List System for an e-Learning Program for Extensive Reading」Euro CALL 2011、2011年9月2日（於：University of Nottingham, UK）</p> <p>3) <u>岡崎弘信</u>、新田晴彦、木戸和彦、岩崎彰典「教材用映画の語彙レベルについて」映画英語教育学会第17回全国大会、2011年8月28日（於：名古屋学院大学）</p> <p>4) 木戸和彦、<u>岡崎弘信</u>、岩崎彰典「言語学習におけるカオスの時系列の短期予測」外国語教育メディア学会第51回全国研究大会、2011年8月7日（於：名古屋学院大学）</p> <p>5) <u>岡崎弘信</u>、新田晴彦「映画英語と TOEIC」映画英語教育学会東日本支部例会、2011年2月27日（於：茗台中学校）</p> <p>* 自主研発表指導</p> <p>1) 自主研英語 G 発表（鳴海祐介、伊東正英、佐々木宗月）「映画を学習教材として TOEIC に挑む」映画英語教育学会東日本支部例会、2011年2月27日（於：茗台中学校）</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) 外国語教育メディア学会関東支部運営委員（2010年5月～）</p> <p>2) TDK 由利本荘(株)英語アドバイザー（2011年6月～）</p>
IV 講演・公開講座等	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 大学コンソーシアムあきた連携市民公開講座「ラブレターで楽しむ英語」、2011年5月12日、19日、26日（於：カレッジプラザ）</p> <p>2) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業「英語'楽'習法～こんな教材、あんな教材～」、2011年5月30日、6月20日、7月4日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）</p>

<p>V その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 平成23年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 「日本人英語学習者の弱点を集中的に個別矯正する多読・速読プログラムの開発と実践研究」 (研究課題番号20520507) 研究代表者</p> <p>2) (財)文教協会 平成23年度調査・研究助成 「学習成果」を可視化するための英語運用能力弱点マップの研究」 研究代表者</p> <p>3) 平成23年度外国語教育メディア学会関東支部公募プロジェクト研究補助金 「多様な記録メディアの音声素材を教材化する音読学習端末の研究と開発」 研究代表者</p> <p>* 記事・コラム・取材協力等</p> <p>1) ラジオ番組ゲスト出演『ごくじょうラジオ』(平日13:00~16:55) 内での特集「ラブレターで楽しむ英語」(2011年5月9日、ABS秋田放送)</p> <p>* 学術論文査読</p> <p>1) 外国語教育メディア学会査読委員</p>
-----------------	--

Terri Lee Nagahashi 准教授

<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告</p> <p>1) Nagahashi, T. 「Content-based instruction: How to design a course in health awareness.」 Asian EFL Journal and TESOL Asia International Conference、2011年8月13日 (於: フィリピン共和国、セブ)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p>	<p>* 社会活動</p> <p>1) 鳥海高原菜の花まつりボランティア、5月28日、29日 (於: 由利本荘市矢島町城内字桃野)</p> <p>2) あきたキイチゴ利活用研究会研究員、2008年~ (於: 秋田県、五城目町)</p> <p>3) 財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業「秋田の農家民泊一体験から持続的交流へ」ボランティアリーダー、2009年5月~</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 平成23年度秋田県立大学高大連携授業 (Assistant Director) 「秋田県立大学に隣接する高校生等によるコンピュータを使つての英語学習について」、7月23日 (於: 秋田県立大学)</p> <p>2) 平成23年度あきたキイチゴ利活用研究会講演 「An introduction to value-added raspberry products.」 2011年11月25日 (於: 秋田県、五城目町)</p>
<p>V その他の活動</p>	<p>* 新聞・雑誌掲載等</p> <p>1) Nagahashi, T. 「アメリカ合衆国オレゴン州: ザ・ベリー・ステート」『あきたキイチ</p>

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>ゴニュースレター』2011年12月、第3巻3号、1～3ページ（単著）</p> <p>* その他</p> <p>1) 平成23年度秋田県立大学学生自主研究指導教員「Red Mulch vs Black Mulch in Early Tomato Production」、2011年6月～</p> <p>2) 秋田県立大学サークル顧問「The Harvest Club」、2011年4月～</p>
--	---

松村聡子 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文等</p> <p>1) 松村聡子 "Mind at once so enlighten'd, and so ridiculous': A Romance-Reading Heroine in <i>The Female Quixote</i>" 『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2011年3月31日、第12号、45～54ページ（単著）</p>
III 社会活動・受賞等	<p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県生活環境文化部県民文化政策課主催 「あきたの文芸」小説・評論部門選考委員（2009年4月～2012年3月）</p>
V その他の活動	<p>* 報告書等</p> <p>1) 松村聡子「ジェイン・オースティンの作品研究」『平成21年度学長プロジェクト研究成果報告書』（公立大学法人秋田県立大学）2011年1月25日、99～101ページ</p> <p>2) 松村聡子「ジェイン・オースティンの作品研究」『平成22年度学長プロジェクト研究成果報告書』（公立大学法人秋田県立大学）2011年8月31日、77～79ページ</p> <p>* 選評</p> <p>1) 松村聡子「死のイメージ」『あきたの文芸』（秋田県）2011年10月27日、第44集、93～94ページ</p>